

のぞいてみよう がっこう れきし
学校の歴史

めいじじだい しょうがっこう しけん
～明治時代の小学校の試験～

問市史編さん室 ☎ 042-571-7815

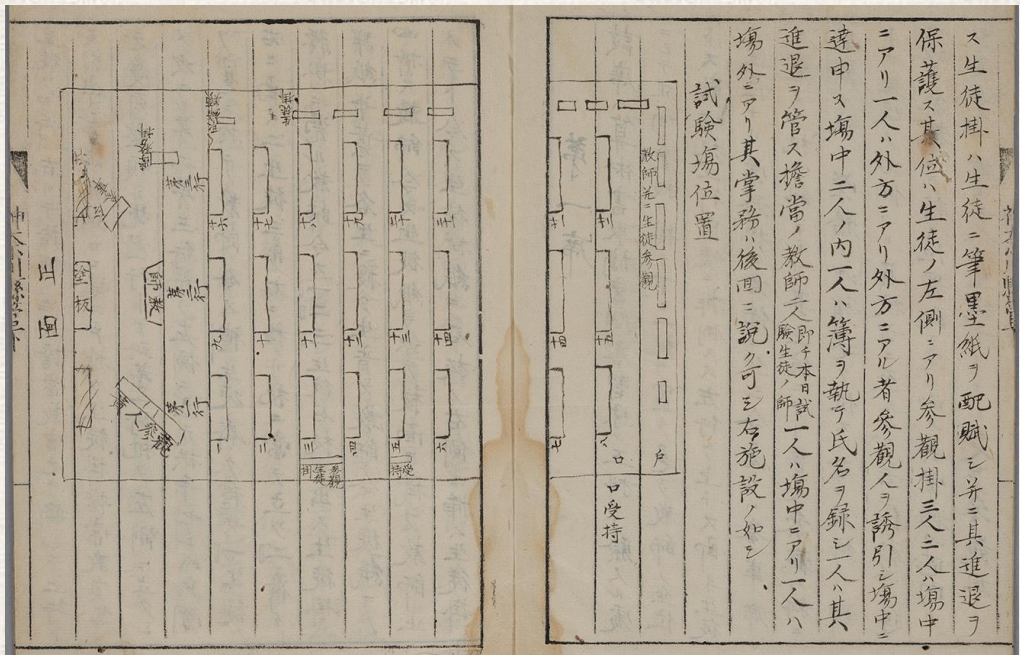
しけんかいじょうず ほんだすいけんけ もんじょ
試験会場図(本多雖軒家文書)

こ どもと せんせい のほか、けんがくしゃ
見学者もいたことがわかる

いま やく ねんまえ
今から約150年前の明治5(1872)年
に、日本初の 近代的学校制度を 定めた
「学制」が公布され、全国で学校の設置が
始まり、翌年には医王山最勝院国分寺の
境内にも最勝学舎が設置されました。
最勝学舎の先生であった本多雖軒が書

のこ き残した、学校の試験についての資料に
よると、科目は算術(算数)、書取、稿書
(作文)、問答(質問と応答)、習字、読物
(音読)、講義(読物の要約)、字義(読物の
意味を回答)で、答えを書くだけではあり
ませんでした。また、試験では筆、墨、半紙

のほか、石筆(滑石という石でできた筆記
用具)や石板(一人用の小さな黒板状のも
の)が使われました。
150年前と今のみなさんの学校生活を
比べてみると、様々な発見があるかもしれ
ませんね。



整備工事が完了 ～史跡武蔵国分寺跡(僧寺南門地区)～

問ふるさと文化財課 ☎ 042-300-0073



◀ガイドブック

貴重な歴史遺産として国の史跡
に指定されている武蔵国分寺跡を
後世に残すために令和4年度から
実施していた「僧寺南門地区」の工
事が令和8年3月に完了しました。
「僧寺南門地区」は、武蔵国分寺
の玄関口(南門)があったエリア
で、今回の工事では、武蔵国分寺
への参拝に使われた参道や南門の

復元、伽藍地区画溝の立体表示を
行ったほか、広場や休憩スペース、
解説板を設け、ゆったりと散策や
学習ができるようにしました。
整備が完了し、参道を南下した
先にある武蔵国府跡とともに、市
域を超えて歴史を学ぶ環境が整い
つつあります。ぜひお出かけくだ
さい。



▲休憩スペースの四阿(あずまや)



▲当時の様子をイメージできる解説板

